

くらしを支える 基礎年金

問い合わせ先 健康づくり推進課
熊本西年金事務所
国保年金班(西合志庁舎)
☎(242) 1183
☎(353) 0142

公的年金の給付は、老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金の3種類があります。

老後を支える 老齢基礎年金

65歳以降、国民年金から「老齢基礎年金」を終身にわたって受け取ることができます。

保険料を納めた期間が長ければ長いほど(上限は40年・480月)、老後に受け取る年金額も多くなり、短ければ受け取る年金額は少なくなります。 ※厚生年金に加入していた期間については、老齢厚生年金が上乘せられます。年金額は、過去報酬と加入期間に応じて決まります。

障がいの状態になったとき 障害基礎年金

病気やけがが原因で障がいの状態になったときに受け取ることができる年金です。

①20歳～60歳までの国民年金の被保険者

者期間中に初めて受診した病気やけがが原因で、一定の障がいの状態になったとき

②被保険者の資格を失ったあと、60歳以上65歳未満で一定の障がいの状態になったとき

③20歳前に初めて受診した病気やけがで、一定の障がいの状態になったとき ※障害基礎年金は、すでに老齢基礎年金をもらっている人は請求することができません。

一家の働き手が亡くなったとき 遺族基礎年金

国民年金の加入者が亡くなったとき、その人によって生計を維持していた「子のある配偶者」や「子」に支給されます。また、配偶者に支給されるときは、子どもの人数によって加算があります。

なお、会社員や公務員であるときの障がいや死亡の場合には、厚生年金や共済年金からも支給されます。詳しくは年金事務所へお問い合わせください。

第62回精神保健福祉 普及運動週間 ストレスを抱え込んでいませんか

問い合わせ先 福祉課 障がい福祉班(西合志庁舎)
☎(242) 1149

皆さんは心の健康について考えたことはありますか。10月27日(月)から11月2日(日)まで、第62回精神保健福祉普及運動が全国一斉に開催されます。

私たちは、日常生活の中で知らないうちにストレスをためてしまうことがあります。不安やストレスを抱え込むことで心の病気になる恐れがあります。心の病気は特別な人がかかるものではなく、誰でもかかる恐れのある病気です。

一人で抱え込まず、まずは身近な人や相談機関などに相談してみましょう。この機会に心の健康について考えてみませんか。

相談機関

心の悩み相談

- ・社会福祉法人 熊本のちの電話 ☎(353) 4343
- ※毎月10日はフリーダイヤル ☎0120(738)556
- ・県精神保健福祉協会 熊本こころの電話 ☎(285) 6688

心の健康相談

- ・菊池保健所 ☎0968(25) 4138
- ・県精神保健福祉センター ☎(386) 1166
- ※月～金午前9時～午後4時 (祝日・年末年始を除く)



「みんなですすめるまちづくり」自治基本条例

事業の必要性を検証 事務事業検証会

自治基本条例



市事務事業検証会を実施し、市が行なう事業の必要性や進め方が適正であるかどうか、市事務事業検証委員会で検証しました。

検証の対象とした16事業のうち、9事業で改善の必要性などが指摘されました。この結果は、庁内で今後の事業の在り方を検討する際の参考にしていきます。

●現状維持のまま取り組むことが求められた事業

- ・妊婦健診事業
- ・図書館運営司書配置事業
- ・庁用共通物品管理事務
- ・消防施設設置事業
- ・菊池地域農協農業振興事業
- ・障がい者団体等活動支援事業
- ・熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会参画事業

●改善が求められた事業

事業名	指摘や改善要望の内容
子ども医療費助成事業	助成対象年齢を引き上げ、厳しい財政状況をふまえて所得制限を設けるなど市独自政策も検討を。
地域再生拠点創造事業	地域に広めてほしい。達成度がわかりやすいよう、目標設定などを工夫して成果報告を。
ふれあい館、みどり館維持管理事業	指定管理者の公募による民間のノウハウ導入の検討、より厳密な施設管理委託料・経費の精査を。
企業誘致活動事業	企業誘致のための規制緩和に向け、国や県へ積極的な働き掛けを。
道路維持事業	要望などへの早急な対応はよいが、優先順位やその基準を明示するなどの対応も必要。
都市公園総括型管理事業	公園ごとの委託内容を見直し、管理コストの削減を念頭に置いた適正な管理を。
小中学校教育活動指導員配置事業	指導員の役割成果の評価基準をもっと明確に。介護補助員配置事業などとの統合も検討を。
人権啓発運動団体運営支援事業	まだまだ必要な事業ではあるが、各団体の活動や会計処理など厳密に精査したうえで予算措置を。
生涯学習講座開催事業(趣味講座)	経費や公平性の観点から、本当に必要な講座かどうか常に点検を。

●問い合わせ先 企画課 企画広報班(合志庁舎) ☎248-1813

夏秋作のウリ類・トマトを栽培する農家・市民の皆さんへ 害虫対策でウイルス病のまん延を防ぎましょう

タバココナジラミやミナミキイロアザミウマは、ウリ類の退緑黄化ウイルスやメロン黄化えそウイルス、トマト黄化葉巻ウイルスなどを媒介します。

作物がウイルスに感染すると、深刻な品質低下や収量の減少を招きます。産地をウイルス病から守るために、栽培終了後は閉め込みなどの対策を行い、病気を媒介する害虫を野外へ出さないようにすることが重要です。



タバココナジラミ 体長0.8mm

ミナミキイロアザミウマ 体長0.8～1.4mm



退緑えそ病で枯れたスイカの葉

●栽培終了後の対策

閉め込みができるほ場

- ・栽培終了後は、ハウスを開放せずに閉じた状態で株を抜き取るか地際を切断し、内部を除草します。
- ・植物が枯れてしまった状態でハウスを閉め込んでおくと、中の害虫は餌がなくなり死滅します。
- ・閉め込みの期間は、10月からの気温低下後は2週間以上、可能であれば1カ月間閉め込みます。

閉め込みができないほ場(露地栽培、家庭菜園も含む)

- ・対象害虫がいる場合は害虫が他の作物のほ場に移動するのを防ぐため、農薬を散布した後、株を抜き取るなどして速やかに枯らしてください。
- ・ウイルス病が発生している場合は、植物を抜いて袋などに入れ、密閉しましょう。

! 緑色の葉の黄化や斑点、内側への巻き込み、株全体の黄化などが見られたら、ウイルス病の危険性を疑いましょう。

●問い合わせ先 農政課 農政班(合志庁舎) ☎248-1445